

作品名	作家名	感想	評価
道租土家の猿嫁	坂東眞砂子	今回のN01 文句なしに面白かった。中上健次の「鳳仙花」を思わせる。歴史的風土的な面でここまで書ける人はあまりいないと思う。絶対のお奨めです。	☆☆☆☆☆
山 妣 (下)	〃	前回の(上)と合わせて、これも入り込んでしまう面白さが・・・登場人物それぞれが意味をもっている。さすが直木賞をとっただけであると納得した。	☆☆☆☆
狗 神	〃	内容的はあまりにもドロドロしていて、読んでいて辛くなった。面白いとは思うけどね・・・	☆☆
桜 雨	〃	一枚の絵を題材に最後にああ・・・そういう事だったの。というような奇を衒った作品。どちらかと言うと好きだな・・・こういう書き方	☆☆☆
蛇 鏡	〃	これは、また「狗神」に似た感じ、宿命というか・・・そういうものの重さがちょっとね・・・	☆☆☆
智恵子飛ぶ	津村 節子	突然原点に立ち戻って。 ちょっとヘビーな坂東さんもいいけど津村さんに戻るとほっとするのも事実。 高村智恵子は好きな人だけど、高村光太郎は好きではないはずだったのに、これを読んで少し気持が変わった。	☆☆☆☆
白百合の崖	〃	与謝野晶子と共に「明星」の名花二輪と言われた歌人。山川登美子の生涯。 短歌への想いと鉄寛への激しい恋心・・・外見はおとなしく従順でありながら内に秘めた女心のせつなさが伝わってくる。	☆☆☆